

# ESG (環境)

## 保有物件における環境への取り組み

### 商業施設

#### ■ キャナルシティ博多



#### ◎ 運河水濾過システム (雨水の水利用システム)

キャナルシティ博多のシンボルである運河は、親水機能と非常時の消防用水としての機能を持っており、この運河には常時約 1,200トンの水を貯水。この水には省資源の観点から雨水を利用。



#### ◎ 地下水浄化システム (RO 処理システム)

キャナルシティ博多では、館内の地下水をRO膜(注)という特殊な膜を使った水処理システムで再生し、館内で使用する上水を生産。

(注) RO膜: 非常に細かい穴のあいた膜でその穴を通過出来るのはほぼ水の分子のみで不純物や有害物質を除去する膜で海水や泥水からも飲用水の生成が可能

#### ■ パークプレイス大分

#### ◎ 空調負荷の低減について

施設内では、飲食専門店街通路及びフードテラスの天窓に遮蔽剤を含有した塗膜を貼付。



#### ■ 木の葉モール橋本

#### ◎ 雨水の再生利用

木の葉モール橋本では、雨水を水槽に貯留し、ろ過装置できれいにした水と、飲食テナントからの厨房排水を厨房除害施設と中水処理装置で処理し、再生水としてトイレの洗浄水に利用。



### オフィスビル

オフィスビルでは、外壁面の壁面緑化や外構植栽を行うことで、ヒートアイランド対策を実施しており、各物件の共用部のLED化も推進している。

#### ◎ 壁面緑化



#### ◎ LED化推進による省エネ対策

LED化の推進

- 呉服町ビジネスセンター (屋内共用部、一部外構など)
- サニックス博多ビル (屋内ダウンライト)
- 大博通りビジネスセンター (エントランス、屋内共用部など)

サニックス博多ビル事例



### その他

#### ■ 物流施設

#### ◎ 再生可能エネルギーの導入

ロジシティみなと香椎とロジシティ久山では、屋上部分に太陽光発電パネルを設置。



#### ■ 住居

#### ◎ 外構植栽

Aqualia千早では、耐寒・耐夏性に優れ、害虫に強く、年間を通じて管理しやすい種類の外構植栽へ植替え。



# ESG (社会)

## 福岡リアルティ 役職員数、有資格者数 他

◎福岡リアルティ 2019年2月28日現在

本資産運用会社従業員数: 41名(女性比率46.3%)

正社員平均勤続年数: 7年7ヶ月

■常勤役職員数: 41名(男性22名 女性19名)

■スポンサーからの出向者の受入: 2名

■スポンサーへの出向者の派遣: 3名

■有資格者数(延べ人数)

- ・宅地建物取引士: 25名
- ・経営学修士: 1名
- ・ビル経営管理士: 4名
- ・行政書士: 1名
- ・一級建築士: 1名
- ・中小企業診断士: 1名
- ・不動産鑑定士: 2名
- ・弁護士: 2名
- ・不動産証券化協会認定マスター: 16名

## 地域コミュニティへの取り組み

### 環境向上活動の一環恒例イベント



キャナルシティ博多では環境向上の一環として、「博多ひ〜んやり!打ち水」を実施。本資産運用会社従業員も参加。

### 安全・安心活動



パークプレイス大分では、『安全・安心まちづくり協議会』を設置し、関係機関・団体と連携による防犯・パトロールや青少年の非行防止を積極的に努めている。

### クリーンデー



本資産運用会社従業員が地域清掃活動に積極的に参加。(2019年3月20日現在通算271回)

### 地域イベントへの参加



地域密着型木の葉モール橋本では地域コミュニティへの取り組み一環として、市民参加型のステージイベントを開催。

### 地元活性化のサポート OnRAMP



株式会社ドーガン・ペータと共同で、九州における起業家育成支援を目的として、会員制のオフィス「九州アントレプレナークラブ“OnRAMP”」を開設。

## 柔軟な働き方の支援

- ・子育て支援(産休・育休制度)
- ・介護休暇
- ・ボランティア休暇
- ・ノー残業デー
- ・福利厚生(401K、累投制度等)
- ・有給休暇取得の促進等

## キャリア形成支援

- ・従業員満足度調査の実施
- ・自己申告制度
- ・キャリア面談
- ・出向制度(スポンサー会社への出向)
- ・契約社員から正社員への登用制度
- ・各役職層に応じた研修プログラム提供
- ・資格補助制度(不動産証券化マスター、宅地建物取引士等)
- ・語学学習支援

## 社員向け研修

- ・海外視察(深圳)
- ・コンプライアンス研修
- ・ESG研修
- ・公益財団法人九州経済調査協会の定例講演会
- ・介護研修等



《深圳研修》ドローン体験



《深圳研修》無人店舗実査

## その他イベント

今年で11年目となる社内レクリエーション。旅行やスポーツ等様々な活動を通じて、社員のコミュニケーション強化を図る。



《15周年記念旅行》LCCを使った釜山旅行(39名参加)



《スポーツ》バドミントンとヨガレクリエーション(35名参加)

# ESG (ガバナンス)

## 顧客本位の業務運営に関する基本方針の制定

当社は、2017年3月30日に金融庁が発表した「顧客本位の業務運営に関する原則」に掲げられた7つの原則をすべて採択し、2017年9月20日顧客本位の業務運営を実現するための基本方針を制定。

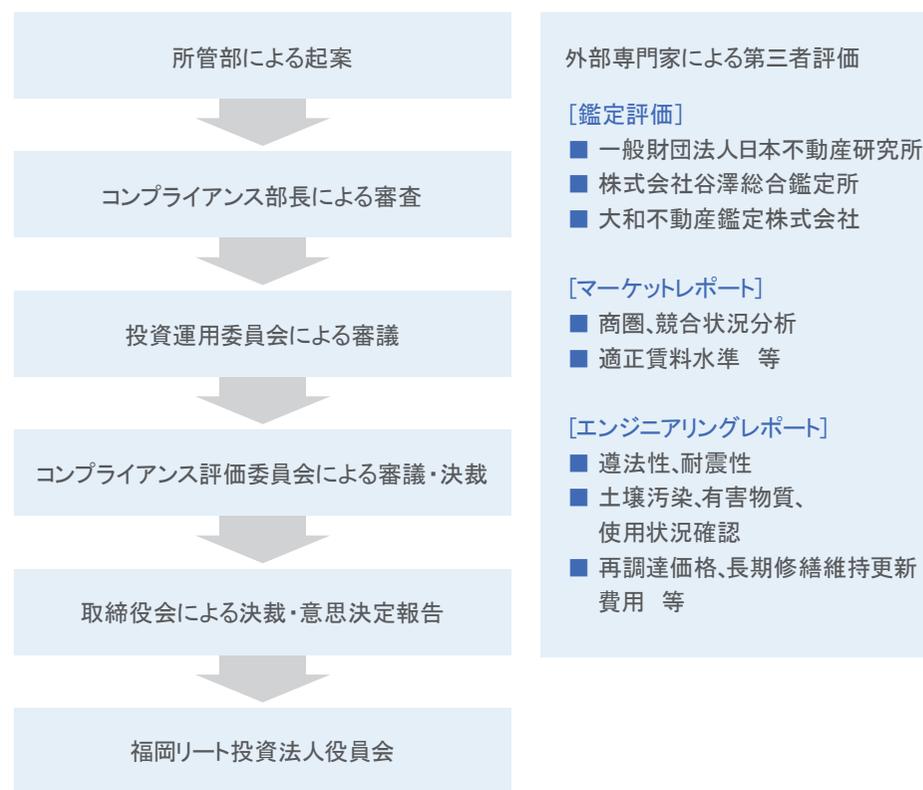
### 当社の基本方針

1	当社は、上場リートの資産を運用する金融事業者であり、当該上場リートの投資主の皆様の資産運用ニーズにお応えできるよう、常に質の高いサービスを提供するため努力してまいります。
2	当社は、地域の個別事情に精通した資産運用会社として、情報力とノウハウを活かし、中長期的に安定した収益を投資主の皆様を提供することで、投資主の皆様の利益最大化を目指します。
3	当社は、投資主からの受託者責任 (Fiduciary Duty) を第一に考え、利益相反取引の管理などを適切に実施してまいります。
4	当社の役職員は、日々誠実・公正な業務を行い、投資家の皆様をはじめ、当社のステークホルダーに対して責任を持って行動します。
5	当社は、法定開示・適時開示に加えて、任意のIRについても積極的に実施し、情報開示の公平性と透明性を高めてまいります。

## ガバナンス体制

当社は、コンプライアンス基本方針、コンプライアンス規程、その他利益相反防止のための社内ルールを定め、これらルールに基づいて、コンプライアンス部長の事前確認、及び、コンプライアンス評価委員会（コンプライアンス部長及び3名の外部専門家で構成）の審議を行い、利害関係者との間の取引における利益相反リスクの適切な管理を行う。

### ◎当社の意思決定プロセス



(注) 投信法第201条の2第1項に定める事項に該当する場合は、投資法人の役員会の事前承認を得ます。